

登録番号732

株式会社ウィンフィールド

代表取締役 柴田 明義
海津市海津町江東264-1

障がい者を雇用した理由は(きっかけ)

過去に採用した海津特別支援学校の卒業生が3年程度かけて、仕事を身につけ一人前に働けるようになりました。そこで、障がいのある方の育成のノウハウを得ることができ、社員教育にかけられる余裕が出てきたことから、新たに特別支援学校の生徒を雇用したいと考えました。

仕事内容、働きぶりは

商品の箱詰め、搬送を中心に働いてもらっています。一つ一つの仕事を理解するのに時間がかかりますが、少しずつ成長してきています。はじめは、目の前の仕事で精いっぱいでしたが、最近では、周囲を見て働けるようになってきました。3年程度で仕事が身につくように長い目で見守っていきたいと思います。

障がい者を雇用するにあたり工夫していること、配慮していることは

障がいのある方に限った話ではありませんが、仕事ができるときには、必ず褒めるようにしています。仕事を認められることで、仕事を好きになり自信を付けて働いてもらいたいと考えています。仕事が好きになってくると、長く続けることができ、よい仕事ができるようになるため、本人にとっても会社としてもメリットとなります。



障がい者を雇用してよかったことは

毎日休まず、決まった時間働いてくれるのでありがたく感じています。安定して出勤してくれるので安心して業務の計画が立てられます。真面目に同僚のアドバイスを聞きながら取り組んでくれるので、周囲の社員のコミュニケーションも活発になり、良い影響を与えてくれています。

卒業生のコメント(就職してよかったこと、がんばっていること、在校生へメッセージ)

【諏訪 誠さん(海津特別支援学校)】

はじめは不安でしたが、周りとのコミュニケーションもとれるようになってきて、働いていくうちに楽しくなってきました。箱詰めの際に間違った商品を入れてしまうと、発送先に迷惑がかかるのでミスがないように確認しながら仕事をしています。在校生の皆さんは、報告連絡相談ができるように学校で学べるとよいと思います。

登録番号837

株式会社下呂魚介

代表取締役社長 滝 多賀男
下呂市森979-4

障がい者を雇用した理由は(きっかけ)

当社としては、今回初めて特別支援学校の卒業生を雇用することとなりました。初めてということもあり、いろいろな点で不安ではありましたが、高等部1年生のころから3年間実習を続けて来てくれたこともあり、少しずつ不安な点が解消され、雇用に至りました。また、本人は魚が大好きであり、海産物を扱う当社としても適性があると判断をしました。

仕事内容、働きぶりは

とても真面目な性格で、魚の下処理に一生懸命取り組んでくれています。当初左利きということで、魚をさばくのに支障があるかなと思っていましたが、在学中の3年間をかけて、右手で包丁を扱うことができるようになりました。本人の努力には頭が下がる思いです。朝の出勤時間が早いですが、すっかり慣れてくれ、その点でもありがたく感じています。

障がい者を雇用するにあたり工夫していること、配慮していることは

特別な配慮をしているわけではありません。高齢者の方も採用していますが、高齢者も障がい者も当社の大切な戦力です。ただし、本人一人一人の適性は丁寧に見るようにしています。この方の場合、一つのことを長時間じっくりと取り組ませるよりも、いろいろな業務をテンポよく取り組むことができるようにした方が効率がよいため、そのあたりには気を付けるようにしています。



障がい者を雇用してよかったことは

働く人材を確保していくことが難しいなかで、障がい者かどうかという点ではなく、学校卒業後すぐの若い、やる気のある方を雇用することは、会社にとっても大きなプラスです。また機会があれば、ぜひ今後も特別支援学校の実習を受けて入れていきたいと考えています。

卒業生のコメント(就職してよかったこと、がんばっていること、在校生へメッセージ)

【萩原 登我さん(下呂特別支援学校)】

朝の出勤が早いので、毎日起きることができるとか不安でしたが、慣れることができほっとしています。今は主に鮭をさばいていますが、今後いろいろな魚をさばくことができるようになります。一日一日の仕事丁寧に取り組んでいきたいと思っています。